

## 第1回市民講座「ひとりの経験はきっと誰かの役に立つ」 アンケート結果

回収率 73%

### 1. 今回の「市民講座」は何で知りましたか？

友人・知人の紹介 37%

関係者から 37%

ホームページ→ブログ→チラシ

### 2. 今回の市民講座、何に関心（参加のきっかけ）があり参加しましたか？

（関心のある順）

体験談

介護する家族

介護

講演者

テーマ

### 3. 今回の講演の内容は100点満点中、何点ですか？

90点以上 49%

70～90点 36%

50～70点 3%

無回答 12%

### 4. 各講演の時間はどうでしたか？

ちょうどよい 91%

無回答 9%

### 5. 会場との意見交換の時間はどうでしたか？

ちょうどよい 58%

短い 3%

無回答 39%

### 6. またこのような講座に出席したいと思いますか？

都合がつけば出席したい 55%

ぜひ出席したい 35%

無回答 10%

## 7. 本日の市民講座に関するご感想をお書きください。

- ・ ほんとうにためになりました。自分のこれからの考え方に勉強させられました。
- ・ 自分はまだ家族の介護など体験していない為、少しでも情報を共有できる機会が増えればよいと思いました。
- ・ 介護の医療制度を早急に国に整えて欲しいと思った。皆の話を聴いて、一番必要なことは「話を聴く人が欲しい」ということだと知った。ゆっくり人の話を聴くことがいかに大切なのかを改めて知りました。毎日をどう生きるのか、考える貴重な時間となった。ありがとうございました。
- ・ ひとりの経験はきっと誰かの役に立つというテーマが大事なことでありながら、自分自身がその状況におかれなないと考えられなないと改めて感じています。これから生きていくテーマの一つとして、教育しているところや職場でも話す機会があったりするとよいのだろうと感じます。生や死や老いるという事を皆で話すことはとても大事なことだと思います。ありがとうございました。
- ・ 以前、特養に勤務していたときの自分の対応を思いました。面会に来ていた家族への対応、面会がない方への対応、忙しそうにいつもしていて、立ち止まって話をしていなかったことを思いました。これから役に立てる何かをしていきたいと思いました。
- ・ 体験談聞いて看護をしている中で出会ったたくさんの家族の方たちと重なって見え、とても勉強になりました。今後の看護の参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 父は15年前スキルス性胃癌で7年間闘病し、本人の希望でいろいろな治療をしていました。7年目に手術をして亡くなりました。義母は4年前脳腫瘍になり手術前の検査で白血病も見つかりました。手術しても取れなかったのですが、今年8月にもう一つ脳腫瘍が見つかりました。放射線治療等で数値がまあ良いとのことで、二つの腫瘍と白血病を抱えながら、和歌山で独り暮らしをしています。今後どうなるかわからないので、心構えとしてこの市民講座に参加させていただきました。4人のお話、きっと役に立つと感じました。
- ・ 地道こつこつと継続ですることのご苦労、しかし可能になった時の喜びも素晴らしいし、これからの時代のニーズに応えることが出来ると思う。
- ・ 本日はありがとうございました。正直親の年齢を考えれば介護を考えていく必要はあるとは思いつつも殆ど考えていませんでした。しかし講演者の方々の話を聴くうちに自分にとっても避けては通れないことだと改めて実感しました。とても意義のある会だと思いました。今の自分に何ができるのかを今一度よく考えてできることを行ないたいと思います。演者の皆さんありがとうございました。
- ・ 介護の現実を知ることが出来て良かったです。私は、まだ要介護の家族を持っておりませんが近い将来必ず起こる現実だと思っております。また、このようなセミナーがあれば参加したいと思います。

- ・話をされる一人一人の方が実際に体験された事をお話ししてくださり、どのお話もとても心に残りました。皆さん貴重な体験をされた中にも、そこから得たものを活かされ、今とても輝いて生きていらっしゃるなど私も力を頂きました。生きている限り誰も避けては通れないこの問題をいろいろな角度から学ばせて頂きました。私も今日のテーマの「人の役に立ちたい」という身近なところから見直していきたいと思いました。
- ・初めての参加ですが、もっと切実な問題として多くの方々が参加なさるのだと思っていたので、意外な感じがしました。この会が育つことを祈っています。内容は心打つものでした。正直さ、愛、看取りは本当に濃厚な時間ですね。ケアする側の人の心のケアの問題は大きいです。「スピルチュアケア」という人々がいることを知り、話を聴いていただいています。
- ・日常なかなか接する機会のない話を自ら体験している演者からお聞きすることができてよかったと思っています。
- ・貴重なお話しありがとうございました。
- ・単なる話し相手、されど話し相手、必要な情報があつてよかったです。
- ・患者さんを看ている家族の方には他人はうかつにアドバイスするようなことは（親切心からでも）気をつけないといけないということを、今日は学ばせて頂きました。聴いてあげることの必要性を感じました。夫婦両方の親を見送り、今のところ幸いにも家族、兄弟、健康で過ごしており、この状態が長く続くことを祈ります。いかに良いお医者様、看護師の方に出会えるかが大切なことだと痛感しています。4人の方々は各々大変な思いをされて、よい経験談が聴けました。その時の心構え、相手の思いやりの大切さがよくわかりました。旅立つ方々の恐怖感だけは取り除いてあげられたらと思いました。患者本人への看護もいうに及ばず、ケアする家族への心のケアの大切さを感じております。
- ・在宅の実際について皆さんの話を聞くことで学びました。訪問をやりたいという気持ちが強くなりました。参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・体験は何といっても説得力があります。がん治療の遅れを改めて強く感じます。経過のよいがん患者は統合医療を実行できた人です。病氣予防、介護予防の重要性を強く感じますが、国も地域も個人もノー天気だと思います。
- ・こうあるべきという押し付けではなく、ひとりひとりが受け止め考え行動するために、よい講座だと思います。自分の体験を思い出し、今はなき家族との関わり、患者の家族として自分が求めていたことを改めて思い出しました。周りに患者あるいはその家族がいたら、当事者の気持ちになって、聞き役に徹したいと思います。思い出させて頂き感謝します。ありがとうございました。
- ・貴重な体験談をいろいろ聞くことができてよかったです。今はまだ身近にありませんが、いつか通る道なので参考になりました。
- ・介護された（されている）方々の生の声を聴いて目頭が熱くなりました。私自身、母をガンで亡くし、主治医や看護師の方々に恵まれていたことは幸せだったと改めて感じま

した。今はヘルパーとして人のお役に立ちたいという思いで現場に行かせていただいております。介護しているご家族にとってもこのヘルパーで良かったと思っていただけるよう努力していきたいです。愛のある看護を提供されているアイナースさん、その他の方々のますますのご発展をかげながら応援しております。

- ・ 介護者当人になってみなければわからない状況や、家族の心理がお伺いでき、参考になりました。

#### 8. 提案・要望などありましたらお書きください。

- ・ 開催時期、時間を検討していただければ幸いです。
- ・ 介護という言葉の中には大変多くの難題が含まれていると思います。紐解いていくと何色もの糸があって太さの違う糸があって…ぜひとも詳しく教えていただければと思います。
- ・ NPOにすると行政との接点が増えるようです。
- ・ 実際生活（介護）などに役立つワンポイント、知恵などを教えて頂けると有難いです。実際マイクなど向けられると話せない人もいると思うので、前もって意見など書いておけるようなものもよいかと思います。
- ・ ひとつのことがらに絞ったテーマ別であればという思いがします。例えば今日のお話であれば「介護保険からこぼれおちる家族のケア」「告知について」などなど。。私はとにかくたくさん情報が欲しいので、介護情報を民間サイド、家族や患者の声でまとめた情報等が欲しいと思います。
- ・ 現場と行政との考え方ややり方の開きなどたくさん不満、不備もあると思います。黙っていても行政は変わらない（言っても変わりませんが）ので、小さな力でも継続していけば方向性が見えてきますし、賛同してくれる力も加わってくると思います。引き続きこの活動を頑張っていただければ幸いです。
- ・ これからのネットワーク
- ・ 集客が大変だったと伺いました。リスナーを集めるのではなく、看護学校や専門学校など、もともと“人がたくさんいるところ”へ出張授業をなさったらいかがでしょうか。“家族”に目を向ける若い医療従事者が増えたら嬉しいです。

#### 9. あなたの性別をお聞かせ下さい。

女性 68%  
男性 16%  
無回答 16%

#### 10. あなたの年齢をお聞かせください。

40代 36%

30代	19%
60代	13%
50代	10%
20代	6%
70代	3%
無回答	13%

**11. あなたの職業をお聞かせ下さい。**

ヘルパー、会社員、自由業、自営業、主婦、看護師、建築設計、セラピスト、医師、翻訳業、介護福祉士、行政書士、健康食品販売、サービス業